

【資料2】

令和7年度 保護者アンケート集計結果

4:よくあてはまる  
 3:ややあてはまる  
 2:あまりあてはまらない  
 1:まったくあてはまらない

| 評価項目 |                                       | 全学年の評価割合 |      |      |      |     |     |
|------|---------------------------------------|----------|------|------|------|-----|-----|
|      |                                       | 4        | 3    | 2    | 1    | 平均点 | 昨年度 |
| 1    | 学校は、教育目標や活動の様子をお便りや学級PTA、個別面談で知らせている。 | 47.3     | 48.6 | 2.5  | 0.2  | 3.5 | 3.5 |
| 2    | 学校は、授業を工夫し、学力向上に努めている。                | 43.6     | 48.9 | 0.5  | 0.2  | 3.5 | 3.5 |
| 3    | 学校は、道徳の時間などの学習をとおして、心の教育に努めている。       | 38.5     | 47.9 | 2.3  | 0.2  | 3.4 | 3.4 |
| 4    | 学校は、けがや交通事故防止、不審者対策などの安全指導に努めている。     | 36.7     | 49.5 | 3.7  | 0.7  | 3.4 | 3.4 |
| 5    | 学校は、校舎内外の環境整備に努めている。                  | 35.9     | 54.4 | 3.0  | 0.5  | 3.3 | 3.4 |
| 6    | 学校は、児童や親の連絡・相談に適切に対応している。             | 48.6     | 44.2 | 3.0  | 0.2  | 3.5 | 3.4 |
| 7    | 学校は担任だけでなく、職員全体で子供に寄り添う指導に努めている。      | 36.7     | 45.6 | 2.8  | 0.7  | 3.4 | 3.3 |
| 8    | お子さんは、早寝早起きに努めている。                    | 28.8     | 54.2 | 13.8 | 3.2  | 3.1 | 3.1 |
| 9    | お子さんは、ごはんを毎食しっかり摂っている。                | 62.9     | 33.6 | 2.8  | 0.9  | 3.6 | 3.6 |
| 10   | お子さんは、元気に登校している。                      | 67.5     | 28.4 | 1.9  | 2.3  | 3.6 | 3.6 |
| 11   | お子さんは、学校が楽しそうである。                     | 55.7     | 38.5 | 3.4  | 1.2  | 3.5 | 3.5 |
| 12   | お子さんは、進んで家族や地域の人にあいさつをしている。           | 20.3     | 54.8 | 18.7 | 2.8  | 3.0 | 3   |
| 13   | お子さんは、家庭学習に取り組んでいる。                   | 27.7     | 57.2 | 12.5 | 2.7  | 3.1 | 3.1 |
| 14   | お子さんは、家庭で読書をしている。                     | 24.2     | 26.1 | 31.1 | 18.7 | 2.6 | 2.6 |
| 15   | お子さんは、家庭で決めた約束を守ってメディアコントロールに取り組んでいる。 | 16.6     | 42.2 | 29.3 | 11.8 | 2.6 | 2.7 |

※ 合計が100%とならないのは、保護者用アンケートのそれぞれの選択肢に「0. わからない」があるため。

| 考察   |
|--|
| <p>・ほぼ全項目で昨年度と同様、または上回る結果となったが、「校舎内外の環境整備に努めている」「家庭で決めた約束を守ってメディアコントロールに取り組んでいる」の2項目が、昨年度を0.1ポイント下回る結果となった。環境整備については、毎月の安全点検に加え、日々の点検を確実にし、安全に過ごせるようにする。メディアコントロールについては、今後子供たちに身に付けさせる必要がある力なので、学校での指導に加え、PTAと連携しながら保護者への啓発も行っていく。</p> <p>・「早寝早起き」「家族や地域の人へのあいさつ」「家庭学習」「家庭での読書」については、全体的に低い数値となっている。これは昨年度も見られた傾向であるが、家庭教育に委ねる部分も大きく、価値観の多様化、保護者の多忙化など様々な要因から、家庭と連携した取組が難しくなっている。全職員で実態を把握するとともに、学校でできることを模索しながら、引き続き指導にあたっていく。</p> <p>・「児童や親の連絡・相談に適切に対応している」「担任だけでなく、職員全体で子供に寄り添う指導に努めている」については、それぞれ昨年度よりも0.1ポイント上回っている。全職員が、児童を認め褒める声掛け、困り感や悩みに対して真摯に対応したことや、保護者の不安に寄り添い、誠意ある対応を行ったことが安心感へとつながったと考えられる。</p> |